

【要旨】

内政面では、国軍幹部（序列2位及び3位）が交代し、野党勢力（C x L）が発足した。外交面では、当地米大使が人権活動家ヌニェス氏を「勇気ある女性賞」候補にノミネートしたことに当国複数閣僚が抗議した他、オルテガ大統領がALBA特別首脳会合に出席、モンカダ外務大臣がトゥクストラ首脳会合に出席、対コロンビア輸入関税「愛国税」が撤廃、イスラエルとの外交関係が回復、仏大統領特使が当国を訪問した。

【主な出来事】

1 国軍幹部の交代

(1) 27日、ニカラグア国軍は、同日付でオスカル・モヒカ参謀総長（国軍序列2位）及びアドルフォ・セペダ監察官（序列3位）が退役するとともに、バジャルド・ロドリゲス少将が参謀総長に、マルビン・コラレス少将が監査官に、それぞれ任命されたと発表した。ロドリゲス新参謀総長は、ルイス国防大臣の夫で、作戦・計画部門の長を務めていた。コラレス新監察官は、海軍司令官を務めていた。

(2) 元国軍少将のトーレス氏は、今次人事異動について、「軍高官キャリアの慣例を破るものであり、国軍士官の職業的尊厳を相当程度傷つけるものだ。」「オルテガ大統領及びムリージョ副大統領の政治的意図が、憲法規範・法規範や軍人キャリアの尊重に対して優先されている。」と述べた。

2 野党勢力「自由のための市民たち」（C x L）の発足

(1) 19日、野党勢力「自由のための市民たち」（C x L）は、初めて開催した全国大会にて執行部（任期：2017～2020年）を発足させ、本年11月5日の統一地方選挙への参加に道を開く政党資格取得のための要件の1つをクリアした。

(2) 右大会には、ニカラグア国内全ての県から320人のメンバーが集まり、党代表にはキティ・モンテレイ氏が選出された。

(3) C x Lは、客年6月の最高裁判決によって独立自由党（PLI）の代表権を失ったかつての最大野党勢力モンテアレグレ派の主要メンバーによって結成された。

3 ドグ当地米大使に対する抗議書簡

(1) 国際女性デーの前日にあたる7日夜、ドグ当地米大使は、自身の公邸で開催したレセプションにて、ヌニェス・ニカラグア人権センター（Cenidh）代表を国務省「勇気ある女性賞」の候補にノミネートすると発表した。

(2) 同レセプションに出席していたニカラグア政府の9名の女性閣僚・次官(マレンコ総括外務次官, カストロ保健大臣, ラウデス教育大臣, トーレス労働大臣, ラミレス家族青少年大臣, メサ女性大臣, チオング家族・コミュニティー・協同組合経済大臣, ペレス同次官, バレーダ技術庁長官)は, ドグ大使のスピーチ中に退場, 翌8日, 連名で右ノミネートに抗議する同大使宛書簡を発出した。

(3) ヌニェス代表は, ニカラグア政府がこのような反応を示すのは初めてではなく, 過去に同代表が当地仏大から勲章を授与された際も, その翌日, 仏本国から来訪予定の講演者による表敬がキャンセルされたことがあったと述べている。

4 オルテガ大統領の第14回ALBA特別首脳会合出席

5日, オルテガ大統領は, ベネズエラで開催された米州ボリバル同盟(ALBA)第14回首脳会合に出席した。

5 モンカダ外務大臣の第16回トゥクストラ首脳会合出席

29日, モンカダ外務大臣は, コスタリカで開催された第16回トゥクストラ「対話と協調」メカニズム首脳会合に出席した。同大臣のコスタリカ訪問には, アコスタ財務大臣, ソロルサノ勸業・産業・通商大臣他も同行した。

6 対コロンビア輸入関税「愛国税」の撤廃

(1) 7日, コロンビアに対し35%の輸入関税を課す「愛国税法」を廃止する法案が, 国会本会議にて可決された。愛国税法は, 1999年に導入され, 同税収を対コロンビア海洋紛争の対策資金に充てていた。

(2) コロンビアからの輸入品に対する愛国税の適用は, 平均して年間1200万ドルの税収をもたらしていた。財務省幹部は, 本年予算の一般税収は愛国税撤廃による税収減を十分カバーできる水準にあり, 予算に支障を来すことはないと主張している。

7 イスラエルとの外交関係回復

(1) 28日, ニカラグア外務省及びイスラエル外務省は, 同日付で両国間の外交関係を回復させる旨, 共同コミュニケの形で発表した。ニカラグア政府は, ガザ地区に向かう人道支援船マヴィ・マルマラ号をイスラエル軍が攻撃した事件に抗議し, 2010年, イスラエルとの外交関係を中断させていた。

(2) ドグ当地米大使は, イスラエルとの外交関係回復に関するニカラグア政府の今次決定を評価し, 「イスラエルがより多くの友人をもつことは, 我々(米国)にとって素晴らしいことであり, 我々はこれを支持する。」と述べた。

(3) アssenブリーズ・オブ・ゴッド(当館注: 当国最大のキリスト教福音派団体)のアリスタ会長は, 「(イスラエルとの外交関係回復は,) 本年ニカラグア政府が下した最良の

決定のうちの1つである。なぜならば、イスラエルの人々と関係を築くことは、神の民と関係を築くことを意味するからだ。」、「(ニカラグアがイスラエルとの外交関係を中断した) 2010年以来、我々は、外交関係が再開されるよう祈ってきた。」と述べた。

8 仏大統領特使の当国訪問

26日から3日間、ジャン＝ピエール・ベル氏は、オランダ大統領の特使としてニカラグアを訪問し、オルテガ大統領を表敬した他、ポラス国会議長、ニカラグア仏友好議連メンバー、モンカダ外務大臣、タラベラ国家大学審議会（CNU）会長、ニカラグア投資振興機構（PRONicaragua）幹部と、それぞれ会談を行った。

<主要経済指標>

	2017年			2016年	2015年
	3月	2月	1月		
インフレ率（前年同月比）	3.2%	3.7%	3.9%	3.7%	5.9%
貿易収支(百万ドル)	未発表	未発表	未発表	△3,227.6	△3,013.9
輸出 FOB(百万ドル)	未発表	未発表	未発表	2,226.4	2,421.7
輸入 FOB(百万ドル)	未発表	未発表	未発表	5,453.9	5,435.7
海外送金（百万ドル）	113.6	107.6	102.1	1,264.1	1,193.4
外貨準備高(百万ドル)	2,462.4	2,433.1	2,459.8	2,447.8	2,492.3

（出典：ニカラグア中央銀行）